

発行：2005年11月23日/発行責任者：特定非営利活動法人シャンティ山口 代表 角 直 彦
連絡先事務局 〒753-0215 山口市大内矢田 717 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083
ホームページアドレス：<http://www.kvision.ne.jp/~shanti/>

県民活動

ボランティアフェスティバル

2005

2005.11.6.sun 山口県セミナーパーク で開催されました。

シャンティ山口も「NGO ネットワーク山口」開催実行委員として準備のお手伝いと、当日の、分科会及び活動紹介など出展に参加しました。

体感！

“山口から世界を知ろう”

～見ちゃろ、やっちゃろ国際協力～

様子をご覧ください



シャンティ山口



JICA 中国



青年海外協力隊 OB 会・育てる会



ありんこちゃんの会



国際交流協会



日中きさん会



山口県青年国際交流機構



アフリカンドラム



分科会(ファシリテーター荒瀬さん)



この国はどこかな？



国が解りました・発表です！



クイズの正解者にプレゼント

当日は、あいにくの雨で、すべて室内で行われました。

「NGO ネットワーク山口」が主催した「国際協力・国際交流ブース」には、アフリカンドラムに誘われ、多くの人が集まり大盛況でした。特に中国の水餃子やブータンのカレーに人気集中し短時間での完売でした。

また、分科会では、「体感！山口から世界を知ろう」のテーマで教材「文化の箱・各国の写真」を使って行われ、幼児から熟年さんまでみんな一緒に世界を知る楽しい一時でした。

この「体感！」により新たな発見と、国際理解が深まりました。

～パヤオレポート (その2)～

“逆境に生きる 子どもたちの 未来を拓く”

パヤオ 子ども奨学金 「未来への夢の架け橋」

10月28日 2005年度後期奨学金授与式が、タイ各地域で行われました。

そのうち、シャンティ山口の支援するシャンティ寮でパヤオ奨学生の授与式がありました。シャンティ山口事務局長が支援者を代表して、出席者一人一人に奨学金を授与し「今、こうしてあなた達がここに居るのは、あなたの夢に苦勞も省みず応援されている家族のおかげです。

夢がかなうまでしっかりと自分の持ち前を育て下さい。日本の皆さんが見守ってくれています。そして、そのとき、喜びをみんなで分かち合いましょう。」

と、あいさつをした。

引き続いて、シャンティ寮の先輩でチェンマイ大学2年在学のクンガムラン村出身のヤー

さんが、奨学生を代表してお礼の挨拶と、近況報告並びに後輩たちに「元気で周りの環境に屈せず自分の道をしっかりと踏みしめ、明日への希望に向かってください。」と、励ましのスピーチがあり、盛大な拍手が鳴り響いていた。



スピーチに聞き入る奨学生



さわやかな「ヤーさん」のスピーチ



受付風景



夢ふくらむ奨学生



パヤオ奨学生

2005.10.28 撮影

平成17年度パヤオ奨学生数

中学生			高校生			大学・専門			合計
男	女	計	男	女	計	男	女	計	
9	57	66	18	24	42	6	6	12	120

奨学生の声

“将来、僕は教師になって自分の村の子ども達を教え、村を貧困から救いたい”
 メーサー・セワンさん (サンディスク村出身19歳)

～パヤオレポート (その3) ～

NCPモデルシステム 第1号 完成

- 1 寮に、到着するや「これは、ひょっとして」即、調査「やっぱり」稲の穂がでていない箇所や・花が咲いたばかりの状況、稲にとっては、水が一番必要な時期、寮の水田は、たつぷりと、水を蓄えてある。



改修予定の処理槽（男子寮）



（女子寮）

すなわち地下水が高く、穴を掘ると水が湧き仕事ができない!!!
「この様子だと後、一ヶ月以上は、だめ!!「あきらめた!?!」

今回寮は、次の準備のための既設の状態確認・埋設配管の状況調査、実施設計・及び電気関係緊急作業（寮・幼稚園）のみに予定変更としました。

後続の、お手伝いの3人（システムアドバイザーの安藤さん・ファイバーエンジニア岡村さん・総合アシスタントの本東地さん）の仕事として残しておきました。

- 2 寮生は、農繁期休業のため、当番（5、6人）を残してそれぞれの村へ帰ってお手伝い、2日後からパヤオ奨学生10名がシーカーアジア奨学生合同合宿（パヤオから陸路500km南のチェンカーン寮へ）の計画があり、許可を得て、参加することにしたが、・・・セーンサイ村・クングムラン村が気に掛かって仕方ない・・・
次の日、セーンサイ村を尋ね村のトイレ調査をしました。

・・・「もはや大変な状況」・・・汲み取りに経費がかかるため、生が垂れ流しの状況。

今年から1回の汲み取りが100パーツ値上がりし300パーツになって、汲み取りが頼めない。

このため、やむを得ず溢れる屎尿を溝で低地導き「そこらじゅう・・・だらけ」の状況を目の当たりにした。

急遽、チェンカーンへの合宿を取りやめ、最悪の家庭1戸に絞り施工することを決定しました。

設置を決定したセイチャン宅の状況（8人家族＝お父さん・お母さん2人・子ども5人）



糞尿の流出



使用中のトイレ



便器と水洗のたらい



母屋

3 早速、次の日から資材屋さんを駆けめぐり井側・セメント・砂利・砂・パイプ等現地に運んでもらう、作業員は、施工先の家族・村の住人・寮生で取り掛かりました。



設置箇所の選定



掘削中（いずれも160cm 掘る）

- ・ 一帯は、粘土層だが、当所の底部は、小石混じりのため掘削に2日を要した。
- ・ 崩れない土質のため土留めは、不要。
- ・ 防水処理は、処理剤を混入し念のため、モルタル2回仕上げとした。



配管完了



粘土採集



粘土による地盤加工



集水管の穴あけ



装置の器基礎完成



補強のための素焼き

- ・素焼きは、粘土が十分乾燥した後徐々に温度を上げ、最終800度を望む。
- ・この後、籾殻による蒸し焼きをした。

消化槽の漏水テスト 浸潤装置組み立て

- ・2日間のテスト漏水の無いことを確認。
- ・浸潤マットは、麻製で2重構造とした。
- ・器内の重量支持竹は、内部容量を考慮し節に穴を開けた。
- ・点検パイプは、前後2カ所とし、専用蓋を取り付けた。
- ・畑土には、籾殻等くん炭を30%混入し付近の地表面土を使用した。
- ・3人の皆さんが到着するまでに完成の予定で無理のない工程を計画した。
- ・その結果・ ・皆さんが到着する前日に完成した。



畑・浸潤装置完成



完成記念写真（2005.10.28）

- 残件事項
- ・ 蓋の加工（花用植木鉢の設置）
 - ・ 畑の形状（土盛り整形）
 - ・ 野菜苗の植え付け

10月28日午後3人の助っ人が到着早速セーンサイ村に行き安藤アドバイザーに確認してもらった。

評価は、 「第一号としては上出来！」

「これからの経過観察がたのしみです。」

A Natural Circulation Purificatino System とは、

自然・ 循環・ 浄化・ 装置で、

“地球に優しいトイレ” です。

無放流だから川や、湖の汚染がない！

嫌気処理だから、薬注しない・きれい！

残留窒素・燐は、土壌を介して植物に吸収！

会費納入と募金のお願い

シャンティ山口からのお願いです。

平素より、当会の活動に対しまして、特段のご理解とご協力をいただき、心より厚くお礼を申し上げます。

会員継続・会費納入のお願いについては、昨年度より文書でのお願いは、行っていませんでした。

このため、会員の皆様方からの会費の納入が滞り、現状では、今後の運営が危ぶまれ、現地の子ども達に直接影響を及ぼしかねる事態も予測されます。

本年度分会費の未納の方は、急遽、添付の「納入用払い込み取り扱い票」により、ご送金いただきますようお願いいたします。

誠に勝手なお願いでございますが、状況をお察し頂きますよう、重ねてお願い申し上げます。

(未加入の皆様方には、是非ご入会をいただき「夢と希望」へのお手伝いを、通じ、子ども達を見守って下さい。どうぞよろしく願いいたします。)

また、**募金につきましても、特段のご理解をいただきご協力をいただきます**ようお願い申し上げます。

平成17年11月23日

特定非営利活動法人 シャンティ山口
代表 理事 角 直彦

副代表 理事 河谷 正也

事務局長理事 佐伯 昭夫